



沖縄キリスト教学院大学
沖縄キリスト教短期大学

学

報 第55号

2009年3月12日発行

沖縄県西原町字翁長777

☎(098)946-4161㈹(098)946-1241

編集・発行

沖縄キリスト教学院企画推進課

URL <http://www.ocjc.ac.jp>



記事内容



★理事長メッセージ・名簿	2	人間の安全保障	
★学長メッセージ・新校舎名称決定	3	海外留学	
★英語コミュニケーション学科&英語科	4	★学生の活動	12
★大学院	4	学Pリーグで売上個数1位	
★保育科	5	短信	
保育科特別公開講座		★同窓会＆同窓生	13
フォローアップセミナー		Can you make yourself and your precious people happy?	
ワイワイプラザ in キリ短		★採用・退職教員メッセージ	14
★総合教育系	6	★人事一覧	15
★オープンキャンパス	7	★寄付感謝報告	15
★大学祭(学生会より)	7	★公開講座募集	16
★50周年記念式典・記念植樹・祝賀会	8	★2007年度決算報告	16
★国際平和文化交流センター	10	★編集後記	16
地球市民月間			
ツバルという国を知っていますか			

新館落成を寿ぐ

理事長 神山 繁實



本学院創立50周年記念館が完成して、本年4月から使用されることになった。本新会館の幾つかの特色について述べてみたい。新館名称は、「シャローム会館」と命名されるが、「シャローム」は、ヘブライ語で「平和・平安」を意味し、日常の挨拶でも普通に用いられている。イスラーム圏でも「サラーム」と発音され、全く同じ意味で、「シャローム」と同じく日常的に用いられている。

本学院の教育目標は、「平和をつくり出す人材の育成」である。本学院の教育目標と新館の名称は図らずも一致する。特に、「キリスト教平和研究所」(仮称)の設立は、沖縄における平和研究と平和活動に新たな息吹を吹き込むことが期待される。

2008年に大学院修士課程異文化コミュニケーション学専攻が開学された。設置申請の折、必要条件として大学院生の研究室の整備が求められた。この研究室と共に同時通訳設備を完備した階段教室も設置され、国内外の学会も新会館で開催できる。また、広く明るいスペースで語学ラボが最新式機器により、これまで以上の成果が期待できる。もう一つの特色は、学生の幼児を預かる施設が設けられたことである。この件は、授業評価ごとに要望事項として提案されていた。更に、広々とした二つの理科実験教室が設置された。これは新しい試みで本学院の教養教育の幅を広げ、質を高める効果がある。

本学院設立に関わった三人の功労者の名前を冠した既設建物が二つある。「仲里朝章記念チャペル」と「クライダー記念図書館」である。もう一人の功労者・前田伊都子宣教師を記念する「ラウンジ」を新館内に置かれるが、良い交わりができる事を願っている。

この新館の中に、同窓会と後援会事務所が置かれることになった。両者は、本学院の教育事業に大きく貢献してきた。今後、更に卒業生との連絡がスムーズにとれることを期待したい。

以前から、本学院と地域連携について、西原町とも話し合ってきたが、その成果は、2004年、ラボの最新化という形で本学に多大な貢献をしていただいた。今後の地域の大学として地域のニーズをしっかりと見極めながら、卒業生・在学生・教職員・地域社会・教会関係者と力を合わせて、新たな50年を歩み出したい。それに、これまで、公約として掲げてきた四年制の保育系学部の設置を推進していかなければならぬ。

困難な時代にこそ新たな取り組みをすることが、希望ある展望を開くことになる。本学院の今後の発展のために本学院でしかできないことを具体化して、地域・国際社会に貢献ができるよう共に前進しよう！

学校法人沖縄キリスト教学院 理事、監事、評議員 名簿

【任期：2008年10月15日～2011年10月14日】

2008年10月15日現在

役職	氏名	選任条項	備考	役職	氏名	選任条項	備考
理事長	神山繁實	3号：日本基督教団沖縄教区	新任：前学長、特任教授	評議員	新垣實	2号：卒業生	新任：卒業生
常務理事	仲門勇市	4号：学識経験者	再任：事務局長兼務	前里光信	2号：卒業生	再任：同窓会副会長	
理事	Randolph H. Thrasher	1号：学長	学長	豊見永清美	2号：卒業生	再任：同窓会評議員	
	前里光信	2号：評議員	再任：同窓会副会長	諸久原朝儀	2号：卒業生	新任：同窓会長	
	比嘉健次郎	2号：評議員	新任：短大名誉教授	平良秀子	2号：卒業生	再任：同窓会監事	
	山里恵子	2号：評議員	新任：人文学部長	照屋守道	3号：学識経験者	新任：ハウス産業株式会社社長	
	名嘉隆一	3号：日本基督教団沖縄教区	再任：愛の園施設長	竹花和成	3号：学識経験者	新任：首里教会牧師	
	村椿嘉信	3号：日本基督教団沖縄教区	新任：沖縄教区総会議長	折田政博	3号：学識経験者	再任：牧師	
	國吉守	4号：学識経験者	新任：後援会長	知念光弘	3号：学識経験者	再任：卒業生	
	大城実	4号：学識経験者	再任：元理事長、元学長	阿嘉幸男	3号：学識経験者	再任：卒業生	
監事	當山善堂		再任	中原俊明	3号：学識経験者	新任：琉球大学名誉教授	
	金城満珠男		新任：税理士	西村貞雄	3号：学識経験者	新任：琉球大学名誉教授	
評議員	山里恵子	1号：学院職員	新任：人文学部長	比嘉健次郎	3号：学識経験者	新任：短大名誉教授	
	山城真紀子	1号：学院職員	新任：短期大学部長	真栄城隆司	3号：学識経験者	新任：短大名誉教授	
	大城宜武	1号：学院職員	再任：四大教授	新川武雄	3号：学識経験者	再任：本学元事務局長	
	内間清晴	1号：学院職員	新任：短大教授	金城信一郎	3号：学識経験者	新任：牧師・卒業生	
	与儀勝彦	1号：学院職員	新任：参与	吉村恵子	3号：学識経験者	新任：沖銀石嶺支店長・卒業生	
	與那原馨	1号：学院職員	再任：総務課長				

New Challenges, New Departures

学長 Randolph H. Thrasher



Since we are facing a difficult economic in Okinawa, the school is acting to increase scholarship aid to students facing financial difficulties. New scholarship funds have been received from Yanagisawa-san, the former head of the Academic Affairs Section, and Kanehide Zaidan. We also have a pledge of 400,000 a year for scholarships from a faculty member. I am grateful to the donors who have made this increase in scholarship funds possible. In addition to this money we are creating an emergency scholarship fund to be used during the next three years—the predicted length of the economic downtown. In this year's budget we have designated 5,000,000 yen for this purpose. Other schools are also offering such special financial aid but our school is also able to offer a special sort of scholarship—one specifically to help students with disabilities. Oshiro Minoru, who has served this school in many ways over many years and is now a member of the Board of Trustees has given 4,000,000 yen to start チュ

イタシキダシキ。The name means 人を助ける in Okinawan. This school has been a pioneer in accepting students with handicaps and now we will be able to help such students financially as well. There are presently 2 students with handicaps and we expect a third to enter in April.

Beginning in April, the school will begin classes in the first new building since we moved to Nishihara. Shalom会館 contains classrooms, two computer labs for language teaching and the simultaneous interpretation program, a study room for the graduate school students, and rooms for the キリスト教平和研究所 and the Alumni Association. The new building will also contain the Itoko Maeda Memorial Lounge. This large airy room is named for the woman who worked side by side with Nakazato-Sensei and Krider-sensei to fund this school. Please join us for the dedication of this new building on March 28th at 2:00.

新しい挑戦、新しい出発

沖縄県内での経済の悪化に直面し、本学では経済的に苦しい学生支援のため奨学金を増額しています。新たな奨学金基金として、柳澤前教務課長と金秀青少年育成財団から寄付がありました。またある教員からも40万円の寄付がされることとなっています。奨学金基金の増額に寄与してくださった方に心より感謝申し上げます。これらの寄付に加え、本学では緊急学生支援特別奨学金を創設いたします。2009年度の予算には500万円が計上されていますが、今後の経済状況を見ながら次年度以降の継続を検討させていただきたいと思っています。他大学も同様に経済的支援を行っていますが、さらに本学は障がいを持つ学生を支援する特別奨学金も提供することになりました。本学の運営に長年ご尽力ください。現在は理事会の一員でもいらっしゃる大城実理事から、チュイタシキダシキ特別奨学金新設のために400万円を寄付していただきました。そして今後、障がいを持つ学生を経済的にも支援できるようになりました。現在、本学には2名の障がいを持つ学生が在籍しており、この4月にはもう1名入学する予定です。

来る4月には、本学が西原に移転して以来初めて建設された新校舎での授業が開始します。シャローム会館には、教室、語学学習や同時通訳のためのコンピュータ室が2室、大学院生用研究室、キリスト教平和研究所そして同窓会後援会室が用意されています。新校舎にはまた、前田伊都子記念ラウンジも設けられており、広くて明るいこの部屋は、仲里先生、Krider先生と共に本学の創設のために従事された女性から名付けられました。ぜひ、3月28日午後2時からの新校舎落成式にご参加ください。

新校舎名称決定!

2008年7月より工事が開始された新校舎がこの度完成した。名称は「沖縄キリスト教学院創立50周年記念SHALOM会館」(略称:シャローム会館)。

2009年4月より使用が開始される。



訃報 前田伊都子先生が亡くなられました

本学の創立に尽力され、その後1966年まで教鞭をとっていた前田伊都子先生が2008年7月24日米国インディアナポリスで息を引き取られました。謹んで哀悼の意を表します。

英語コミュニケーション学科&英語科

「第28回学内英語弁論大会開催」

2009年1月24日4人が出場した。結果は次のとおり。(敬称略)

- 【1位】(ライル・アリソン特別指定奨学金30,000円授与)
伊波幸代(英語コミュニケーション学科1年)
"Change the World - 1 Yen at a Time"

- 【2位】(賞金20,000円授与)
渡具知香菜(英語コミュニケーション学科1年)
"Are You Perfect?"

- 【3位】(賞金10,000円授与)
高橋綾子(英語コミュニケーション学科3年)
"Endangered Languages: Okinawan and Hawaiian"



「第2回高校生英語ライティングコンテスト“Power of the Pen”開催」

英語コミュニケーション学科主催。2008年9月27日8人が出場した。結果は次のとおり。(敬称略)

- 【最優秀賞】中山桃子(開邦高校3年) 【準優秀賞】マツバングアケミローズ(小禄高校2年)
- 【優秀賞】大塚深冬(沖縄尚学高校3年)

「第20回高校生英語弁論大会開催」

2008年12月13日12人が出場した。結果は次のとおり。(敬称略)

- 【1位】目取眞るみ(那覇国際高校2年) 【学長賞】石原舞子(首里高校1年)
- 【2位】知念藍(沖縄尚学高校3年) 【ベストインプロンプト賞】瑞慶覧美紀(開邦高校3年)
- 【3位】平野麻梨加(北中城高校1年)

人類動態学会全国大会開催される

2008年6月21日・22日の2日間にわたり本学を会場に「第43回人類動態学会全国大会」が開催された。大会長は英語コミュニケーション学科教授の近藤功行先生。

ひらめき☆ときめきサイエンス

文部科学省からの委託事業、「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ」がこの夏開催された。県内複数の高校から参加がありにぎわった。

科研費獲得

英語コミュニケーション学科講師の新垣友子先生が平成20年度科学研究費補助金(萌芽研究)を獲得しました。

大 学 院

大学院開設記念講演会

2008年12月20日、立教大学大学院の鳥飼玖美子教授をお招きして「沖縄キリスト教学院大学2008年4月開設記念講演会」が南3-5教室にて開催された。

【演題】グローバル時代における異文化コミュニケーション

保 育 科

2008年度保育科特別公開講座開催しました

2008年9月27日、保育士、幼稚園教諭等を対象に保育科特別公開講座を開催しました。午前の部は2009年4月1日から施行される保育指針、幼稚園教育要領の改訂に同時に携わってきた柏女靈峰先生(淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授)による特別講演。演題は「新保育指針・新教育要領を読む!」。また、午後の部は本学保育科教員による公開講座を行いました。

2008年度卒業生対象フォローアップ講座開催しました

2008年11月29日、48・49・50期の卒業生を招いてフォローアップ講座を開催しました。那覇簡易裁判所上席判事の稻葉耶季さんを講師に「それでも生きる子どもたち」というタイトルで講演を聴きました。



ワイワイプラザinキリ短開催される

県内の親子を招いてのふれあい事業です。10月から1月までの各月1回土曜日の午後を利用して、保育科の全学生を4つのグループに分けて、それぞれの回を企画・運営しました。

第1回 10月18日 14:00～17:00

テーマ: Happy! ジャムジャム!
内容: 学校ウォークラリー

第2回 11月8日 14:00～17:00

テーマ: 作ってワイワイこどもパラダイス～絆～
内容: 本の読み聞かせ、おもちゃ作り、カード作り

第3回 12月13日 14:00～17:00

テーマ: わすれられないクリスマスをキリ短で...
内容: クリスマスの小物作り、昔のおもちゃ作り and 遊び、体育館で遊ぼう

第4回 1月17日 14:00～17:00

テーマ: よみがえるあそび触れ合うこころ♡そしてムーチーと共に
内容: ムーチー作り体験、正月にあったあそび、昔ながらのあそび、その他

総合教育系

総合教育系「ワークショップ」から見た課題と展望

総合教育系主任 青野 和彦



総合教育系は2007年度から4名の専任教員体制で「キリスト教学」「表現技法」「コンピューター・リタラシー」を支柱とする教養教育を継続してきました。また、科内では毎月1回の定例科会に加えて「ネット科会」(メールによる意見・情報交換)を随時開き、教員間の連携を保ちつつ総合教育系関連の多くの議事を協議してきました。現在、私達の主要課題は、①現行教養科目の一層の質的充実、②短期大学としての地域社会への教育貢献であります。昨年4月の科会でこの課題の具体的な展開方法を模索した際、「そもそも総合教育系が提供すべき教養教育とは何なのか?」という本質的な問い合わせがある先生から出されました。この問い合わせに応答するものが、総合教育系の「ミッション・ステートメント」です。しかし、それは未だ明文化されていません。そこで、今後それを文章化しそれへの共通認識を持つためには、総合教育系開設当時の関係者の方からその開設の経緯・目的を直接伺うのが良いという提案が出されました。私達はそれを受け、昨年7月に大城実先生、9月に渡久地政順先生にそれぞれご参加願ってワークショップを持ちました。

それを通し、私達は当時4名の関係者のご尽力によって総合教育系が「教育・研究・地域サービス」という短大の使命+教養教育→短大教育の強化>というコンセプトで設置された経緯を学ぶことができました。そこには、短大教育を支え、推進させるのが教養教育であるという関係者の方々の確信が窺えます。同時にまた、総合教育系のいくつかの設置目的も知ることができました。以下にそれを簡約しておきましょう。

- ・キリスト教建学の精神に根ざす教養教育の提供。
- ・英語科、保育科学生の幅広い教養の修得。

※本短大名誉教授 専門：専門キリスト教学

※※本短大名誉教授 専門：心理学、カウンセリング

- ・教養科目の「三本柱」としての「キリスト教学」、「表現技法」、「情報化教育」。
- ・専門教育と同等のレベルを持つ教養教育の提供。
- ・学生の英語・日本語運用能力の向上および日本文化理解の促進。

以上の設置の経緯・目的から、どのような総合教育系の課題や展望が見えてくるのでしょうか。これらは全て今後も総合教育系が継続して追求すべき課題であると思います。但し、その達成のための具体的手段を策定しなければなりません。私達はそのために時折科会で他大学の展開する教養教育の資料から情報収集を行っています。また何よりも在籍生の意見を尊重しなければなりませんし、提供科目のさらなる充実も必要です。さらに、地域の社会的ニーズも正確に察知していく必要があります。今回のワークショップを通して思うのは、まずは足元を見つめ、着手可能な所から教育を実践することです。つまり、学生自らが基礎学力を修得し、就職や編入へのステップ作りの援助をする。総合教育系設置当時の関係者各位も、地道ながらも実力と広い教養の身につく教育を目指しておられたのではないかと思います。それが主任として見えてきた展望です。そして、それも参考にしつつ総合教育系の「ミッション・ステートメント」を明文化してゆきたいと思います。

ところで、中国の『史記』に「桃李不言下自成蹊」という有名な諺があります。良いものの下には、人が自ずと集まります。そのような教養教育を目標にしたいと思います。

オープンキャンパス盛況でした。

2008年度は「夢への扉はここから開かれる」をテーマに4回のオープンキャンパスを実施しました。音楽礼拝、先輩とのしゃべり場、キャンバスツアー、体験授業、入試相談会etc.と様々なプログラムを用意して大勢の方をお迎えしました。



オープンキャンパス参加者の声

- ◎ 小さい大学だけど、カリキュラムとかがしっかりしていて、いいと思った。
- ◎ キリ短生がとても楽しそうで入りたいと思った。
- ◎ オーラルの体験授業をして、英語onlyで難しかったけど、楽しかったです。
- ◎ とても楽しく英語が学べそうでした。
- ◎ キリ学がカリ短が悩んでいたけど、どちらもいいなと思った。
- ◎ 少人数制で充実してそうだった。
- ◎ 短時間で英語集中的に学べるのでよかったです。
- ◎ 保育科が楽しそうだと思った。
- ◎ 学生がイキイキしていたし、手遊びも楽しくてますます行きたくなりました。
- ◎ ネイティブの先生方の授業が受けて良かったです。
- ◎ みなさんが親切に話しかけてくれて、緊張せずに見学できました。
- ◎ 授業内容が幅広い事が分かった。

2009年度オープンキャンパス日程

第1回
6/13(土)
13:00~16:00

第2回
7/4(土)
13:00~16:00

第3回
8/10(月)
10:00~15:00

※高校1・2年生、保護者、一般の方も自由にご参加下さい。

大学祭(学生会より)

「皆で創りあげたキリ学祭」

前学生会長 天願 順優(保育科2年)



2008年度、第44回キリ学祭が11月15・16日に行われました。今回のテーマは、「Piece bloom ~ i の花~」で「私・自分自身」学生一人ひとりが花を咲かせられるように。Island「沖縄」地元に還元出来るような学園祭になるように、そして、私たち学生と地域が協力し、一つの花(Piece bloom)を咲かせられるようにという願いが込められていました。

このテーマをもとに、学生会・ボランティアリーダーを中心に200人近い実行委員と共に、7月より準備を進めてきました。

今年もエコ活動の取り組み、バンド、ダンス、エイサー、サークルの展示発表、喫茶店、大抽選会等と多様な企画が満載でした。特にエコ活動の取り組みにおいては、エコカーを2日間借りて、皿、箸、コップ等を各出店で出来るだけ使用し、ゴミを出さないように心がけ、また、ペットボトルのキャップを集めてワクチンに替えよう呼びかけ、本学と地域の皆様の協力により1万5千個以上集める事が出来ました。

また、今回は初の試みとして平田大一さんを迎えて、本学学生100人と地域の子ども達と共に「肝高の詩」を踊りました。雨の滴をも吹き飛ばす素晴らしい演技でフィナーレを飾り感動体験を得る事が出来ました。嬉しい事に、その模様がRBCの「スゴてれ」という番組で3回にわたって放送されました。

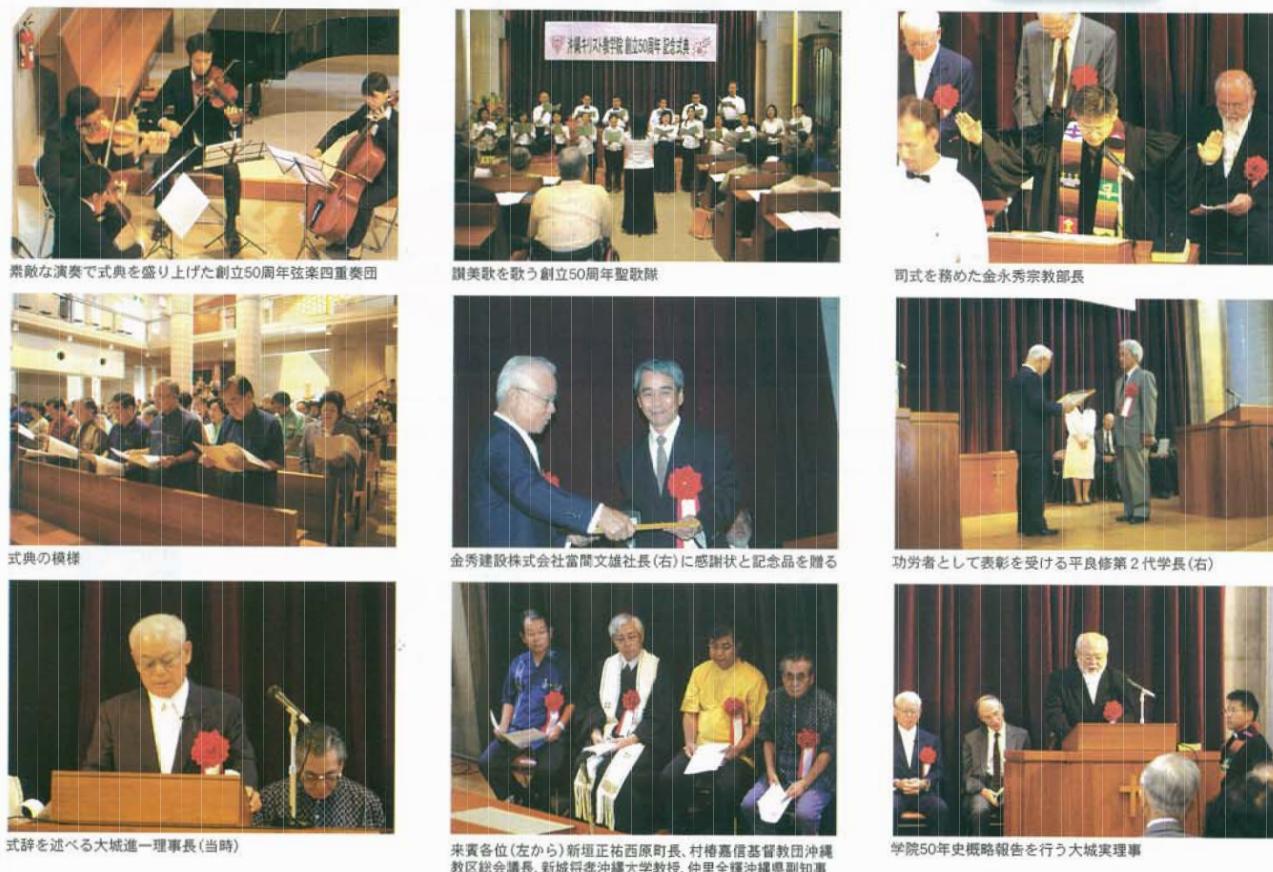
お蔭様でキリ学祭二日間とも大成功に終える事が出来ました。支えてくれた皆様、心から感謝いたします。



50th Anniversary 沖縄キリスト教学院創立

記念式典

沖縄キリスト教学院は2007年度創立50周年を迎え、2008年6月24日に記念式典・植樹・祝賀会がおこなわれました。



記念植樹

記念植樹に用いられたのは、西原町の町花木さがりばなです。有限会社西原建創代表取締役新川凌市氏、株式会社東海造園代表取締役金城末幸氏、本学評議員吳屋定子氏の寄贈があり実現しました。改めて紙面を通してお礼申し上げます。



50周年記念式典・記念植樹・祝賀会

祝賀会



同窓生たちが平良第2代学長(後列右から3番目)を囲んで記念写真

表彰者名簿

【功労者】

1	大城 実	18	新垣 良靖	35	前田 伊都子
2	比嘉 國郎	19	大仲 良一	36	新川 武雄
3	大城 進一	20	渡久地 政順	37	大城 宜太郎
4	平良 修	21	下地 玄毅	38	仲真 良哲
5	金城 重明	22	山里 勝一	39	比嘉 秀男
6	原 喜美	23	喜瀬 政一郎	40	花城 安夫
7	神山 繁實	24	喜屋武 幸清	41	宮里 政憲
8	川平 朝清	25	阿嘉 幸男	42	平田 勉
9	新垣 碧也	26	知花 真康	43	大井 學
10	上地 武雄	27	徳田 澄	44	田崎 邦男
11	前里 光盛	28	國吉 守	45	永田 茂治
12	仲本 正眞	29	金城 信一郎	46	喜名 道雄
13	知念 一郎	30	小禄 邦男	47	翁長 良禎
14	前里 光信	31	知念 光弘	48	安次富 浩
15	名嘉 隆一	32	比嘉 幹郎	49	石川 善英
16	比嘉 健次郎	33	安里 昌男	50	比嘉 安正
17	知花 正勝	34	久保田 照子		

【高額寄付者】

個人	Julia Keiko Higa Estrella	原 喜美	神山 美代子
鈴木 晶子	大城 実	津波古 きくえ	津波古 きくえ
松島 寛容	比嘉 健次郎	真栄城 隆司	真栄城 隆司
大森 泰夫(故人)	柳澤 千恵子	安里 昌男	安里 昌男
田崎 邦男	前里 光盛	西銘 純子	西銘 純子
長浜 栄子	山里 恵子	大城 清治	大城 清治
神山 繁實	大城 宜武	石川 澄嵩	石川 澄嵩
比嘉 國郎	島袋 忠雄		

団体

CIC教会(沖縄インターナショナルチャーチ)
西原町人づくり支援の会
沖縄電力(株)
三協電気工業(株)
医療法人社団 輔仁会 田崎病院
(株)沖縄海邦銀行
金秀商事(株)
医療法人 友愛会 豊見城中央病院
(株)金秀本社

(順不同)

皆様のお蔭をもちまして、50周年を迎えました。
感謝を申し上げます。

国際平和文化交流センター

1

「地球市民月間～いのちをつなぐアースハーモニー」

飢餓、貧困、紛争、災害…世界に山積する問題を身近に捉え、地球上に住むひとりの人間として考え、行動していくため、4月27日～6月8日の期間中に「地球市民月間～いのちをつなぐアースハーモニー」と題し、学外団体等と連携して下記イベントを開催しました。

● 5月22日「チベットチベット」上映会

ドキュメンタリーフィルム上映後、ヒマラヤに小学校を設立し運営されている稻葉耶季さん（那覇簡易裁判所上席判事）を講師に招き、チベットの現状について話を聞いていただいたことにより、深刻さを増すチベット問題への理解を深めることができました。



● 5月29日「環境トークセッション&ライブ」

県内で活躍する写真家の今泉真也さん、アーティストのカクマクシャカさんと KEN 子さんを迎えて、沖縄の自然（開発、基地建設）や、地球全体の環境についてパネルディスカッションを行いました。



● 5月31日「私が選ぶ地球の未来～もっと知ろうフェアトレードのこと～」

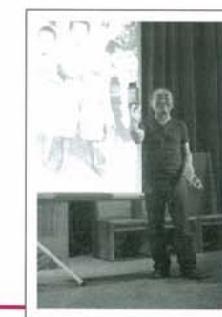
NGO、フェアトレード取り扱い団体と共に、フェアトレードについてもっと知ってもらうためのトークショー、展示販売を行いました。保育科卒業生と在学生の協力を得て託児スペースを設置し、また、同日開催されていたオープンキャンパスに訪れた高校生の参加もあり、様々な世代へ向けてフェアトレードに関する情報を発信することができました。



2

講演会「ツバルという国を知っていますか？～島のみんなと考えたい、ひとごとではない、ツバルの危機」

10月23日、遠藤秀一さん（NPO法人 Tuvalu Overview 代表理事）を招き、地球温暖化防止普及啓発事業講演会を実施しました（共催：財団法人沖縄県公衆衛生協会内「気候アクションセンターおきなわ」）。沖縄と同じ島嶼地域であるツバル周辺の海面上昇について丁寧な解説が行なわれ、私たちの普段の生活と温暖化との関わりが危機感をもつて示されました。



3

講演会「人間の安全保障」

11月7日、ヨハン セルスさん（国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）東京事務所長）と織田 靖子さん（JICA シニア・アドバイザー、UNHCR）を講師として開催しました（共催：JICA 沖縄国際センター）。専門的な内容ではありましたが、主に開発途上国における人々の生命や生活を守るために国連が担っている役割を、現場で活動してきた方ならではの視点で語ってくださいました。

国際平和文化交流センターは今後も、世界の現状を伝えるための取り組みの一つとして「平和文化」をテーマとする事業を継続して実施していきます。



4

海外留学

2006年度創設の本学院「正規留学派遣奨学制度」に続き、2008年度には独立行政法人日本学生支援機構「短期留学推進制度」への参加が認められるなど、留学奨学制度が強化されてきました。本学の奨学制度を利用して留学した学生の体験談を紹介します。

英語コミュニケーション学科3年次 仲村 明菜
(2007年度本学院正規留学派遣奨学生)

2007年9月～2008年6月、本学の奨学制度を利用してオレゴン州のポートランド・コミュニティ・カレッジへ正規留学しました。現地の学生に混じっての授業は、発言することはおろか、授業について行くこともままならず、悔しくて毎日泣きながら登校した時期もありました。それでも持ち前の負けず嫌いの精神と友達の励ましの言葉を支えにつらい時期を乗り越え、最終的に滞在期間を延長するほど、現地での生活を楽しむことができました。



帰国後はTOEFL、TOEICを積極的に受験したり、教職課程に取り組んだりと忙しい日々を送っています。就職活動も始め、留学経験で得たものを今後どのように活かせるか、これから進路について模索しているところです。まだまだ学びたいことはたくさんあります。「県や国の奨学金制度を利用して再度留学したい」「英語を活かせる仕事に就きたい」など夢はさまざまですが、しっかりと自分を見つめ、一番進みたい道を選択しようと思います。



学生の活動

学Pリーグで売上個数1位！

大学3年生の夏、私は貴重な経験をさせていただきました。それは沖縄ファミリーマート主催の「学P 沖縄リーグ2008」に参加したことです。きっかけは高崎正名教授のゼミでした。このゼミで経営や金融について学んでいる時に、教授が「実践的に学んでみてはどうか」と提案してくれたことが参加の大きなきっかけでした。

学Pでは、商品の企画・開発・販売促進活動を全て自分たちで行いました。最初の商品の企画開発では、毎日何時間もの会議を重ね試行錯誤しながら商品決定しました。商品決定後もテレビCMやポスター・チラシ作成、ラベルの決定など多くのことを行いました。作業を進めていく中で課題は多くましたが、チーム全員で一つ一つ話し合いながら進めました。販売期間には、県内全域での販売促進活動を行いました。毎日慌ただしい日々を送っていました。

そして会議を重ねるごとに、チーム全体での協調性や団結力がファミリーマートの社員の方に驚かれるほど成長してきました。また、一つの商品に膨大な時間や労働力がかかっていることなどから、商品開発がいかに大変なのか、身をもって知ることができました。その他にも、本当に多くのことを学ぶことができました。

学Pに参加した約4か月間は怒涛の日々でしたが、とても充実した4か月でした。このインターンシップに参加してやり遂げたという事実は、私にとって大きな自信へと繋がりました。今後の学生生活に生かしていきたいと思います。

英語コミュニケーション学科3年次 知念 久美子



短 信

個 人

- ◎第11回嘉手納町英語スピーチコンテストで英語コミュニケーション学科1年の渡具知香菜さんが審査員特別賞を受賞。
- ◎第4回「沖縄の観光」意見発表コンクール大学及び専門学校の部で英語コミュニケーション学科3年の稻嶺佳恵さんが優秀賞を受賞。
- ◎沖縄歌舞劇団美(ちゅら)の2008年7月5日国立劇場おきなわ大劇場の公演に本学英語コミュニケーション学科の2名の学生が出演。伊佐美紀さん(4年)、松川加奈さん(1年)。演目は歌舞劇「南島風土記」。
- ◎比屋根千鶴さん(英語科1年)が「交流の響き 2008 in かわさき—全国新聞社音楽コンクール上位入賞者演奏会」でヘンデル作曲「アリアと変奏」をトランペットで演奏。
- ◎英語コミュニケーション学科4年次の二人組み“Little White”(砂川勇貴くんと森龍人くん) ラジオのパーソナリティやデュオとして活躍。卒業しても継続予定(お便りは warai_21@yahoo.co.jp)。

サークル等

- ◎今年度より、ノートテイクサークルが字幕サービスを提供。同サークルが聴覚に障がいを持つ方への情報保障としてチャペル行事(月曜礼拝・オープンキャンパス・特別講演会等)でのスクリーンを利用したパソコンでの字幕作成を開始しました。
- ◎WLOサークル活動を継続中。学生らは今年も海浜等の清掃活動を続けている。今年は離島(伊江島)で初のビーチクリーンアップ。活動を応援・参加してくれる方々に感謝。
- ◎ONE LOVEも活動充実。琉球新報の2009年正月版で大きく(一面の半分くらい)紹介される。

Can you make yourself and your precious people happy?

英語科38期生 上江洲(旧姓:山城)ありさ



「あなたはどんな目標を持っていますか？」

私が仕事で面接を行う際、相手の方に必ず聞く質問です。貴方なら、何と答えますか？

かつての自分自身がそうだったように、「面接」と聞くと緊張して何を言っているか分からなくなる、とか、頭が真っ白になつて思うように答えられない、という言葉をよく耳にします。実際ににはよっぽどの人で無い限り、自信満々で面接に望む人はあまりいないのかもしれません。人々、引っ越し思案で人前に出るのが苦手だった私が、キリ短英語科に入学してから徐々に変わり始めました。

入学早々、先輩達の演じる英語での短い劇に魅了され、英語劇サークル「メルローズ」に入部してからというもの、私はどんどん積極的になっていきました。講義の後に毎日のように行われる練習に参加し、その年にいきなりイギリスの中年婦人を演じたことがきっと大きな自信になったのでしょうか、学校で行われる様々な行事やイベントに参加することが多くなり、いつのまにかメルローズでは副部長としてサークルのまとめ役のひとりとなっていました。学友や良き恩師にも恵まれ、キリ短での充実した、濃厚な2年間は、今考えるとその後の私の生き方に大きな影響を与えたように思います。卒業後は米国に渡り、さらに語学や興味のあった心理学の勉強をする機会に恵まれました。外国での生活を経験したお陰で精神的にもタフにはなりましたが、自分の将来についてはまだ明確ではなく、帰沖後は非常勤での仕事をしばらく続けていました。

転機となったのは2002年、国内初の免税店の立ち上げ時に、総支配人の秘書兼総務担当として入社が決まったことでした。今でもメンターとしてお付き合いを続けさせていただいている総支配人の上司には、社会人として必要なことや、仕事に対する姿勢を外資系企業特有のめまぐるしい環境の中でしっかりと叩き込まれました。プロフェッショナルとして仕事をすることの厳しさを分かってきたところで、人事部へと異動が決まり、

以来、採用や研修担当として経験を積んで来ました。冒頭で書いた、人を選ぶことや人に何かを伝えることの難しさはもちろん今も日々の業務で、試行錯誤しています。また、相手が人間なので、関わる業務は多岐にわたり、色々と大変なこともありますが、意外とストレスを溜めることも少なく充実した日々を過ごしていると感じています。きっとこの仕事が私にあっていいのでしょう。人事というところは他の部署よりも個人情報を多く扱い、また職員の方々の日常生活に直接関わる部分も多いため、皆さん安心して業務に打ち込める環境を整える影の立役者としての役割も果たしています。最近は、また別の組織の一員として、様々な人事システム構築の業務を始めたばかりですが、忙しいながらも意外と楽しみながら仕事に励んでいる私がいます。

「人事」と書いて、ひとごと、と読みますが、私はこれを良い意味で解釈しています。

それは、人の事を改善出来るように、また、自分自身も人に幸せを与えられるような人間になることも、同時に目標としています。

後輩の皆さん、毎日楽しんで過ごしていますか？ 学生生活はとても短く、あっという間に過ぎてしまいます。将来の具体的なことはまだ描けなくても、自分自身が楽しみ、充実した時間を過ごし、尚且つ人のためになるような何かを見つける事が出来るよう、心よりお祈りいたします。貴方と、貴方の周りの人を幸せに出来ますように！

【主な経歴】

1996年～2000年 キリ短卒業後、米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 (UIUC) にて心理学を専攻、学士取得
2000年～2002年 大学受験予備校にて受付兼英語講師として勤務
2002年～2008年 沖縄ディーエフエス株式会社勤務。 秘書として入社後、人事部へ異動し、トータル1000人以上の人材採用及び育成、その他の付帯業務を経験する。
2008年12月～ OIST (沖縄科学技術研究基盤整備機構) にて人事職員として勤務開始。前職の経験を活かし、人事全般の業務に関わっている。

同窓会&同窓生

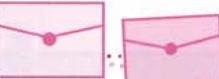
同窓会総会

2008年7月25日、本学会議室において同窓会総会が開催されました。

創立50周年記念ゴルフコンペ

2008年3月30日(一部順延4月25日)、同窓会主催の「50周年記念チャリティゴルフコンペ」がおこなわれ、100組を超える参加者が沖縄カントリークラブでゴルフを楽しみました。

なお、収益金(75万円)と同窓会費(25万円)と合わせ100万円を5月26日に学校に寄付しました。



採用・退職教員メッセージ

一期一会

「一期一会」この言葉の重みをこれほどまでに感じたことが、あつただろうか、また、深く、長く向き合ったことがあつただろうか。答えは「否」である。くわえて、ここ4～5年「生きること」「生かされていること」の不思議を、ヒシヒシと感じることが多くなってまいりました。

一本道一本道 コノ一本道ヲ ミツケテ行キマショウ
コノ 一本道ハドコデ 倒レテモ倒レタ トコロガ 目的地
コノ 一本道ハ 自分ガ コエラレル道 人間ガ コエラレル 道

(竹部 勝之進 詩)

この詩は、友人が、私のために大原省三氏に依頼して描いていただきたものです。谷底にいるとき、迷いが生じるとき、長く暗きトンネルにいるとき、常に誰かが手を差し延べてくれました。そして出会いは、正義と真実の中に花咲くことも教えられました。とるに足らないわが人生、一つの足跡もなくてよいというが偽らざる信条で歩んできましたので、この詩の魂の叫びは、わが心の叫びに呼応して勇気をもたらしてくれます。

学生時代を含め、40年間「沖縄キリスト教短期大学」と共に歩んでまいりました。特別に秀でた能力があるわけでもなく、情熱だけが先走る私ですが、幸いにも歴代の学長先生の教えを「生」で教示されるという恩恵を受けたことを、神の恵みに預からせていただいた果報者の一言に尽きるように思います。

2007年度、保育科の50年の歩みを省みる機会を得ました。そして、この間実に多くの「師」に出会ったことが分かりました。同時に恩師の一言一言が、心深く波打ち、黄金言葉（くがにことば）として蘇ってきました。母校に奉職するという恩恵を受けながら、後輩に、創立者や学院運営の責務の任を取られた学長たちのメッセージを心に響かせることができただろうか、不安もあります。学生たちは、授業での大格闘奮戦記であったように思えます。そして友人、同僚、知人たちとの交わりもが鮮明に蘇ります。これらすべての出会いが、今の私を形づくっていたのだと心に刻むこの頃であります。

2月24日の最終講義を受講した学生は、次のような手紙をくれました。「保育科の歴史に感動しました。保育科を選んでよかったです。誇りをもって保育の業に就きます。」後日学期試験用紙の余白に、次のような言葉が記されていました。「先生の心は我々に伝わっている心配するな」と。本学を去るにあたり、多くの学生、卒業生からの励ましの言葉は、これから私の歩みに大きな、とても大切な宝物となることは確かであります。

最後に、建学の精神が行動となって活きること、本学が社会に約束したことの実現、沖縄の地にある本学の使命が継承されることを祈念し、挨拶をいたします。

2009年3月退職

Knowledge is Power

“Knowledge is Power” is the slogan of a famous university in America. We all agree; that is why we are here. As my final message, I want to mention knowledge that is super power. That is the power of disinterested love, a spirit of reconciliation and of refusal to cooperate with injustice. Three men in particular are famous because they had the power of that knowledge. With the power of that knowledge Mahatma Gandhi muzzled the mouths of mighty England's cannons and made India free from colonial rule. With it Martin Luther King, Jr. freed the African Americans from racist laws, laying the foundation on which America's first Black president, Barack Obama, firmly stands. With it, Nelson Mandela sundered the shackles of apartheid in South Africa and he, a Black South African, became that country's first freely elected, and first Black president.

Happily, the shelves of our library are well stocked with books, both in English and Japanese, that will aid you greatly in gaining that important knowledge. I encourage all students, faculty and staff members to seriously study those vital works.

知識は力なり

「知識は力なり」。これはアメリカのある有名な大学のスローガンである。私たちがこの場所にいるのも、このためであることには異論はあるまい。この大学を去るにあたり、素晴らしい力、権力をも超越する力となる知識について述べたい。公平無私の愛、調和の精神と不正への協力を拒否する精神である。このような力を持っていたことで特に有名な3人がいる。マハトマ・ガンジーは強大なイギリスの砲口を封じ、インドを植民地支配から解放した。マーチン・ルーサー・キング・ジュニア牧師は人種差別の法律からアフリカ系アメリカ人を解放し、アメリカ初の黒人の大統領となったバラク・オバマが踏みしめる土台を築いた。ネルソン・マンデラは南アフリカ共和国におけるアパルヘイトの束縛を打ち切り、南アフリカで行われた初の自由選挙による、初の黒人の大統領となった。

幸いなことに、私たちの図書館の書架には英語や日本語で書かれた書物が数多く並んでおり、皆さんがこのような大切な知識を得るために大きく役立つだろう。学生、教員、職員のみなさんすべての方が、これらをもて重要な働きについて真剣に学ばれることを願う。

2009年3月退職

私にとっての理想の場所

9年前に日本に来て以来ずっと、英語を教えるのに喜びを感じています。本大学では講師として教えており、Oral Communicationコースのカリキュラムを作り、教えるのが主な仕事で、ほとんどの1年生に教えています。毎年夏には、母校である英国のオックスフォード大学で英語の夏期講習を行っているので、興味のある人は知らせて下さい。

私の信念は、学生は英語をもっと使う必要があるということです。ですから、私の授業では、英語を有意義に使えるようにしています。そして本校もOral Communicationのクラスの量を増やすなど、コミュニケーション能力の向上に力を入れており、英語を流暢に話せるようになるチャンスが多々あります。

私はこのフレンドリーな環境で働けてとても幸運に思います。学生はこの小さなキャンパスと、比較的小規模な学校環境でリラックスして学ぶことが出来、授業内外で教授陣と接し、どんな質問でも聞けるようになっていました。私のオフィスのドアは英語の質問がある学生にも、話がしたい学生にも、いつでも開いています。

私にとって本大学は理想的な学校です。あなたも私と同じくここで学べることを幸運に思うでしょう。

2008年4月採用



2008年度人事（2008年4月1日～2009年3月31日）

学長任命（任期：2008年4月1日～2012年3月31日）

沖縄キリスト教学院大学学長・沖縄キリスト教短期大学学長
Randolph H. Thrasher (英語コミュニケーション学科教授)

部署長等任命（任期：2008年4月1日～2010年3月31日）

人文学部長	山里 恵子 (英語コミュニケーション学科教授)
短期大学部長	山城真紀子 (保育科教授・保育科長)
宗教部長	金 永秀 (英語コミュニケーション学科准教授)
入試部長	上原 明子 (総合教育系准教授)
教學部長	城間 仙子 (英語科准教授)
キャリア開発部長	高崎 正名 (英語コミュニケーション学科教授)
図書館長	仲地 弘善 (英語コミュニケーション学科教授)
国際平和文化交流センター長	新垣 誠 (英語コミュニケーション学科准教授)
大学院異文化コミュニケーション研究科長	Randolph H. Thrasher (学長)

<人文学部英語コミュニケーション学科>

●採用（4月1日付け）

Christopher Valcona	講師
神山繁實	特任教授
名嘉山興武	特任教授

●昇任（4月1日付け）

浜川仁	准教授
-----	-----

<短期大学>

●採用（4月1日付け）

William T. Randall	特任教授
--------------------	------

* 寄付へのご協力ありがとうございました。ここに感謝をもってご報告させていただきます。
寄付指定（2008年1月1日～12月31日まで）

個人（95件／¥4,770,153） 団体（37件／¥14,244,650） 合計（132件／¥19,014,803）

寄付感謝報告

四年制大学	奨学金	50周年記念
父 母 1 10,000	企 業 8 550,000	同窓/在学生 2 20,000
宗 教 1 5,000	團 体 3 2,130,000	一 般 1 10,000
宗 教 団 体 3 30,000	宗 教 团 体 1 100,000	企 業 2 350,000
教 職 員 14 70,000	學 校 関 係 者 2 1,250,000	團 体 1 1,095
合 計 19 115,000	教 職 員 16 650,000	學 校 関 係 者 5 340,000
	同 窓 會 1 550,000	教 職 員 13 286,000
	後 援 會 1 2,825,000	同 窓 會 1 1,000,000
	合 計 32 8,055,000	合 計 25 2,007,095
施設設備資金	英語弁論大会	五十周年記念事業資金
父 母 1 10,000	企 業 4 70,000	團 体 1 150,000
同窓/在学生 7 865,153	團 体 3 50,000	學校 関 係 者 1 300,000
企 業 1 30,000	企 業 4 70,000	教 職 員 11 110,000
宗 教 団 体 4 408,555	學 校 関 係 者 2 300,000	團 体 13 560,000
學校 関 係 者 2 550,000	教 職 員 18 294,000	團 体 2 560,000
教 職 員 1 5,500,000	後 援 會 1 200,000	學 校 関 係 者 1 560,000
合 計 37 7,707,708	合 計 2 500,000	同 窓 會 2 560,000



沖縄キリスト教学院 2009年度 前期公開講座募集要項

講座名（講師名）	開設予定日/時間	対象（定員）
見て聞いて楽しく学ぶ「世界の困った現実」 新垣 誠（英語コミュニケーション学科准教授）	4/16（木）～6/25（木）10回 19:00～20:30	世界の貧困や格差問題や海外でのボランティア活動に関心のある方(40名)
琉球の歴史—程順則と蔡温— 深澤 秋人（沖縄キリスト教短期大学などの非常勤講師）	4/16（木）～6/18（木）10回 19:00～20:30	一般社会人、学生（11名以上）
教会音楽合唱講座 神谷 智子（沖縄キリスト教短期大学非常勤講師）	4/17（金）～6/19（金）10回 19:00～20:30	一般社会人、学生（15名）
This world, This week Gray, Quinn-Hideo（沖縄キリスト教短期大学非常勤講師）	4/15（水）～7/1（水）10回 19:00～20:30	どなたでも（11名以上） ※使用言語：英語
カウンセリング概論（入門）（最も基礎的な理論と技法） 渡久地 政順（沖縄キリスト教短期大学名誉教授）	4/15（水）～7/1（水）10回 19:00～20:30	一般社会人（50名）
Communicative Childcare English の基礎学習 —Language Experience Approachを学ぶ— 山里 米子（NPO法人沖縄児童英語研究会理事長）	4/14（火）～6/30（火）10回 19:00～20:30	保育士、幼稚園教諭、学校教職員、児童英語講師、大学生、一般社会人（11名以上） ※使用言語：日本語・英語
中国語会話（初級） 武村 朝吉（企画推進課長、専門：对外漢語；言語学修士）	4/17（金）～6/19（金）10回 19:00～20:30	一般社会人、高校生他（11名以上）

1. 申込方法：

- 1) お電話でお申込みください。電話番号 098-946-1238（総務課）
 2) FAXでお申込みの方は、HP掲載の申込書をご利用になり、氏名等を記入し、下記宛に送信してください。FAX: 098-946-1241
 ※E-mailでお申込みの方は、HP掲載の申込書をダウンロード後、氏名等を記入し、右記宛に添付して送信して下さい。E-mail koukaiko-za@ocjc.ac.jp
 ○定員に達次第締め切らせていただきます。

2. 受付期間：3/9（月）～3/31（火）まで※時間 09:00～17:00（土日除く）

3. 受講費用：〈10回〉一般 6,200円 / 割引 3,200円

○本学関係者・在学・卒業生、西原町在住者、勤務者、学生の方は割引あり。

○一旦納入された受講料は払い戻しができません。

4. 納入先：各講座開講当日に総務課窓口で納入してください。（18:00～18:50）

5. 開講条件：受講者の人数が少ないクラスは開講することがあります。

この場合受講料は、お返しいたします。

6. 詳細：詳細は、本学のホームページをご覧下さい。http://www.ocjc.ac.jp

2007年度決算報告 2007年4月1日から2008年3月31日まで

資金収支計算書

(単位：円)

資金支出の部		資金収入の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
人件費支出	662,856,421	学生納付金収入	811,991,720
教育研究経費支出	208,235,555	手数料収入	21,299,900
管理経費支出	44,632,083	寄付金収入	15,764,528
借入金等利息支出	4,557,062	補助金収入	166,462,020
借入金等返済支出	114,150,000	資産運用収入	8,249,934
施設関係支出	14,557,865	資産売却収入	40,740,000
設備関係支出	26,554,188	事業収入	3,139,736
資産運用支出	30,000,723	雑収入	92,273,056
その他の支出	12,408,767	前受金収入	395,091,000
予備費		その他の収入	2,889,416
資金支出調整勘定	△69,743,719	資金収入調整勘定	△461,720,580
次年度繰越支払資金	973,820,270	前年度繰越支払資金	925,848,485
支出の部合計	2,022,029,215	収入の部合計	2,022,029,215

消費収支計算書

(単位：円)

消費支出の部		消費収入の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
人件費	674,582,881	学生納付金	811,991,720
教育研究経費	273,391,062	手数料	21,299,900
管理経費	50,396,901	寄付金	16,212,840
借入金等利息	4,557,062	補助金	166,462,020
資産処分差額	704,748	資産運用収入	8,249,934
徴収不能額引当金繰入額	200,000	資産売却差額	1,585,161
予備費		事業収入	3,139,736
消費支出の部合計	1,003,932,654	雑収入	92,273,056
当年度消費支出超過額	3,095,532	帰属収入合計	1,121,214,367
前年度繰越消費支出超過額	141,759,661	基本金組入額	△120,377,245
翌年度繰越消費支出超過額	144,855,193	消費収入の部合計	1,000,837,122

貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	2,984,157,852	固定負債	124,649,941
有形固定資産	2,553,998,753	流動負債	475,517,254
土地	916,826,369	負債の部合計	600,167,195
建物	979,087,348	第1号 基本金	3,459,646,625
その他の有形固定資産	658,085,036	第2号 基本金	18,372,179
その他の固定資産	430,159,099	第3号 基本金	30,000,000
流動資産	1,046,172,954	第4号 基本金	67,000,000
現金預金	973,820,270	基本金の部合計	3,575,018,804
その他の流動資産	72,352,684	翌年度繰越消費支出超過額	△144,855,193
資産の部合計	4,030,330,806	負債の部 基本金の部及び 消費収支差額の部合計	4,030,330,806

2007年度決算について報告いたします。

計算書類は、文部省令「学校法人会計基準」に基づいて作成されており、資金収支計算書は、当該会計年度の研究及びその他諸活動に使用したすべての資金収支の内容等を明らかにしたものでです。

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収支内容及び均衡の状態を示し、学校法人の経営状態を明らかにしたものでです。

貸借対照表は、当該会計年度決算時点における財政状態を明らかにしたものでです。



今回初めて学報の担当をすることになり、経験を積むいい機会だと思いました。
 2008年度の記録として、知りえたものを可能な限り紙面に表すようにしました。残念ながら載せられなかった記事も多くあり、学生・教職員・同窓生とともに学内外で頑張っていることを改めて感じました。卒業・退職など本学を後にする方々もこの大学についてよかったですと感じること受け合いでいます。
 最後になりましたが、ご協力、応援をいただいた皆様に心から感謝申し上げます。(城間)